

令和3年度 教員免許状更新講習シラバス

■講 習 名	【必修】社会のニーズに応える教師の職能（教師力）開発
■時 間 数	6時間
■受講対象者	全教諭
■担 当 講 師	岩田 薫（兵庫大学 非常勤講師） 中道 美鶴（関西福祉大学 児童教育学科 教授） 原 康行（兵庫大学 非常勤講師） 三木 澄代（関西福祉大学 児童教育学科 教授）
■評 価 方 法	4講習の筆記試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。
■教 材 等	必要に応じて資料を掲載する。

■講習の概要

【同時双方向型（テレビ会議方式）】

新しい時代に対応する教員の専門性を高めるために「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「特別支援教育に関するものを含む子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4事項に関して、最新の知識技能を理解し、カリキュラム・マネジメントの視点を持って現代の教育課題を解決する方策を考える。

講習Ⅰ 現在の教育改革と新学習指導要領で育む資質・能力

教育改革と新学習指導要領の流れを概観し、今後の学校・園における教育のあり方を考える。
また、教育改革の考え方を教育実践にどのように組み込んでいくのかについて考える。

■成績評価の観点

教育改革と新学習指導要領の流れについて要点を整理して説明できる（知識・理解を評価）。

〔担当：岩田 薫〕

講習Ⅱ 学校と教員への社会の期待

目まぐるしい社会の変化が大人の価値観を変え、子どもの育ちに直接影響している。そのような時代だからこそ教育観・子ども観のあり方が問われる。社会の変化に応じて変えていくべきことも多いが、むしろ「子どもが育つとは」という基本に戻って考えたとき、大切に守っていかなければいけないものが際立ってくる。その点を世界の動向と比較しながら解説する。

■成績評価の観点

これからを生きる子どもたちに必要なコンピテンシーと、教員に求められる教育観について説明できると共に、自身の教育観・子ども観を省察できる。

〔担当：中道 美鶴〕

講習Ⅲ 脳科学と心理学からみた子どもの発達

近年の脳科学の知見に触れながら、学校における「学びの多様性」について理解を深める。特に、ASD（自閉症）、LD、ADHD等の発達障害児の物事の認識方法や行動傾向について解説し、理解と適切な行動をうながし、学びの多い学校生活を送るための支援方法について考える。

■成績評価の観点

脳の多様性について理解をし、個に対する多様な学びの方法とその具体的な支援方法を見出すことができる。

〔担当：原 康行〕

講習Ⅳ 子どもの育つ力を支えるカウンセリングの基礎理論と技法

児童生徒の暴力・いじめ・自殺や不登校など不適応行動の動向をふまえ、問題発生の背景・児童生徒の心の問題への理解と対応について開発・予防的視点に立って考える。また、カウンセリングの基礎理論と基本的技法を紹介し、学校教育におけるカウンセリングマインドに基づく関わりの意義と実際を解説する。

■成績評価の観点

生徒指導の問題行動・不登校等をはじめ子どもの気になる言動・心身状況について、紹介した諸理論に基づいて多面的に理解し、カウンセリングマインドに基づく関わりを考察することができることを重視する。具体的には、提示した事例について、共感的理解・肯定的関心に基づく多面的な問題理解（アセスメント）と、解決指向の適切な教育実践を考案できることを確認する。

〔担当：三木 澄代〕